

戸田合宿所の思い出とその後

13期 江刺 兼吾

富坂の校舎中庭にはオールが3本立っていました。理工ボート部の勧誘にふらふらと誘われた半世紀ほど前の光景です。初めて戸田のボートコースでナックルに乗りオールを握り漕いだ時、かなり重たいと感じ、これは大変なところに入ってしまったなあと感じたことを思い出しました。当時のボート部は部員が少なくかなり厳しい状況の中、富坂の校舎では基礎トレーニングを行い、休日は戸田でボートを漕ぐ日々が続きました。だんだんとそれなりに漕ぐ姿が様になり爽快な気分で漕いでいました。そんな中、8月末開催のインカレに付きフォアで出場すると聞き、誰と誰が組むのだろう、周りを見ても少ない部員の中で、まさか1年の私と森が内山先輩と水村先輩と組むなんて大丈夫かなと。。。。。

決まってからは夏の合宿の練習は先輩の指導も含め結構厳しいものでした。特に中村先輩のご指導には気合が入りました。朝夕のコースでの練習、昼間のボートコース1周のマラソン、ウエイトトレーニング、艇庫内の綱のぼりなどの体力強化等で、体重が10kg以上絞られ、それなりの体形になりました。夏の合宿は本チャンの合宿所の一部を借りていたので夕食後は、チャンの方々といろいろ世間話などして過ごしていました。当時の女性歌手のことなど、話題にした記憶があり4年生の先輩は当時のアイドルで天地真理の大ファンだったはずです。とにかくくだらないことを話して昼間の練習で疲れた体をリラックスさせていました。あの頃のチャンの先輩の方々は、今何をされているのだろうと思うと隔世の感があります。。。。。

練習はだんだんと厳しさが増していましたが、無我夢中でやっていたからあっという間に試合当日になり予選敗退で終わりました。インカレも終わりホッとする間もなく、次の全日本の試合に出るということになり、佐藤先



全日本大学選手権(昭和49年8月31日・9月1日) C大見、S水村、3森、2江刺、B内山

輩と森と私の3人で付きペアで出場することが決まりました。練習が始まり今度は授業があ

りましたので、合宿所から富坂に通うということで練習メニューも夏とは違い、夕方からコースへ出ての練習でした。夕方暗くなるので艇の先端にライトをつけて漕いでいました。真夏を過ぎて季節も変わりコンディションはまあまあ夏よりは良い状態で試合に臨めました。試合当日は多数のOB諸先輩方も応援に来られたのを記憶しております。付きペアで2000mはかなりきつい試合でした。試合後、合宿所での打ち上げで当時のチャンの監督さんから「よく頑張たなど！」言葉をかけていただき感無量でした。あっという間の1年でしたが達成感はかなりありました。その後2年、3年と付きフォアなど、色々と試合に出ましたがやはり1年の時の印象が強烈に残っております。

社会人になり設備関係の仕事柄、残業や休日出勤も多くその反動で休みにはテニスやスキーなどでよく遊んでおりました。たまたま行った野沢温泉のスキー場で妻と知り合い結婚し、雪谷大塚の社宅で新婚生活を始めました。新婚生活が落ち着いたころ、会社から海外出張を命じられ、ソ連崩壊前のロシアのレニングラード（今のサンクトペテルブルグ）に1年ほど出張していました。秋から夏まで居りましたが経験したことのないマイナス30度



サンクトペテルブルク グリボエドフ運河

の冬の寒さや、夜の来ない白夜、エルミタージュ美術館のすばらしさや音楽コンサートのレベルの高さ等感動・感心することばかりでした。一方、当時のロシアでは食事が粗末でしたので、日本から大量のインスタント食品をもって自炊しながら共同生活を送り、途中どうしても日本食が食べたくなりモスクワまで夜行列車で納豆を食べに行ったこともありました。赤

の広場はなかなか荘厳な場所でした。町には闇市場もありドルを出すと高価なキャビアの缶詰も安く手に入れることができ、不思議な国だと思っていました。仕事は現地の作業員とのコミュニケーションがうまくいかず予定通りに進まず辛い思いをしておりましたが、チームをまとめるように意思疎通を図り何とか予定通りの日程で完成までやり遂げること



サンクトペテルブルク ペトロフスカヤ堤防(本人左)

ができました。無事に帰国しましたが、日本の情報があちらには、ほとんど入っていませんでしたのでテレビを見ても、理解できないことが多く、しばらく記憶喪失のような状態でした。

訳あって定年前に転職し現在のJR関係の会社に移り、北陸新幹線や北海道新幹線の車両基地立ち上げで、3年間ほど単身赴任しておりました。特に函館は歴史のある観光地でしたので休日には色々と出かけ、五稜郭や新選組土方歳三の碑等、興味深く各所を観光し、夕食は新鮮な魚介類を使って単身赴任者同士で料理を作り楽しく過ごしていました。合宿所で覚えた食事の支度がここで大変役に立ちました。開業が決まっておりましたので後半徹夜作業などもありましたが、チームワークよく課題を乗り越え無事に納入検査に進み車両基地の立ち上げが終わりました。

いま振り返ってみたとき色々な場面で、チームワークが必要となるときがありボート部の経験が役に立っていたのかなと思います。

OB会にはすっかりご無沙汰でしたが、55周年の記念OB会で久しぶりに深堀と会い、その後尾上も一緒になってたびたび遊んでもらっております。相変わらず元気

な深堀に色々と連れ出してもらい、有り難いことと喜んでついて行っています。なかなか上達しないゴルフですが、これからはお付き合いできるとしております。

ボート部で鍛えた体のおかげでかなり無理な仕事や交渉もこなしてきました。あの時の戸田での記憶が鮮明に残っています。それだけ衝撃的なボートとの出会いだったのかなと。また、学生時代の数年間を有意義に過ごせた事、いまさらながらボート部に誘っていただいた内山先輩には感謝しております。現役の皆様も学生生活を楽しく悔いのないようボートと勉学に励んでください。



新幹線車両基地の立ち上げの業務にて



五稜郭(函館赴任中)